

# 全国協議会 ニュース

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL. (03)3356-8217  
FAX. (03)3356-8637  
発行責任者:品川 保弘  
http://www.marrow.or.jp/  
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

## 新春を迎えて

特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
会長 大谷貴子



皆様、明けましておめでとう  
ございます。

昨年は、幼い子供たちが命を  
狙われる事件が多発し、たくさ  
んの悲しい思いを持ちました。  
いのちの重さを理解できない大  
人たち。これでは、これから世  
の中を背負っていく人々に「命  
の大切さ」や「優しさ」を説け  
るはずがありません。

しかし、「人が人を救う」骨  
髄バンクには他者への愛があ  
ります。思いやる心があります。  
私は、この骨髄バンクという人  
と人とのつながり、命と命との  
つながりは、いのちや優しさを  
伝える格好の学び舎であると考  
えます。事実、骨髄バンクへ思  
いを馳せ、登録会や募金活動に  
積極的に参加されている中学生  
や高校生はのちと真剣に向き  
合っています。

また、昨年9月から骨髄バン  
クへの登録年齢が18歳からと引  
き下げられました。これを機に  
高校生をはじめとする若い方々  
の登録も増えてきております。  
骨髄バンクを通じて他人を思い  
やる気持ちがさらに育っている  
と感じております。

今までに骨髄バンクを通じ  
て命のプレゼントをお贈りい  
ただいた7000人の皆様様の  
優しさをしっかりと受け止め、患  
者さんのためにも、ドナー登

録30万人のためにも、今年は正  
念場だと考えています。そして、  
これからの日本のためにも、ど  
うぞ今年も皆様のご支援をよろ  
しくお願い申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団  
理事長 正岡 徹



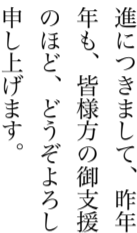
新年を迎えるにあたり、謹ん  
でご挨拶を申し上げます。骨髄  
バンク事業の今日の発展は、多  
年にわたりこの事業にご理解と  
ご支援をいただきましたボラン  
ティアの皆様や関係者のご尽力  
の賜物であり、深く感謝を申し  
上げる次第でございます。昨年  
は、ドナー登録数、移植数が飛  
躍的に伸びました。本年も、患  
者さんの救命のために一人でも  
多くのドナー登録を推進し、ド  
ナー登録者30万人という目標  
が一日でも早く達成されますよ  
う努力していきたいと存じます。

また、より一層のコーディネー  
ト期間の短縮やドナー安全対策  
の強化、国際協力の推進などに  
努めてまいり所存でございます。  
これからも、骨髄移植を必要  
とする患者さんのため、また、  
ドナー登録推進のために、ご支  
援、ご協力を賜りますようお願い  
申し上げます。

厚生労働省健康局疾病対策課  
臓器移植対策室長 片岡佳和



新年明けましておめでとうご  
ざいます。骨髄バンク事業の推  
進につきまして、昨年同様、本  
年も、皆様方の御支援、御協力  
のほど、どうぞよろしくお願  
い申し上げます。



白血病などの血液難病の患者  
の方々に骨髄移植の機会を広く  
公平に提供することを目的とし  
る骨髄バンク事業は、今年で  
15年目を迎えることとなりまし  
た。この間、皆様方をはじめ多  
くの関係者の方々の御尽力によ  
り、昨年11月には、ドナー登録  
者は229000人を超え、ま  
た、バンクを介して行われた骨  
髄移植は6900例を超えまし  
た。特に、昨年夏以降、多くの  
方々のこれまでの努力の積み重  
ねにより、ドナー登録者が飛  
躍的に伸びています。ドナー登  
録をされた方々や実際に骨髄を  
提供された方々、さらにはバン  
ク事業に携わる関係者の方々と  
共に全国各地で御支援してい  
だいているボランティアの皆様  
方の御支援、御努力に對しまし  
て、心より感謝申し上げます。

厚生労働省臓器移植対策室と  
いたしまして、ドナー登録者  
数30万人に向けて、今後とも関  
係機関と連携して事業の一層の  
推進に努めてまいります。ととも  
に、これまでの骨髄バンクコー  
ディネートシステムを再構築し、  
さらなるコーディネートの迅速



化を推進するなど、効果的・効  
率的なあつせん体制を進め、一  
人でも多くの患者さんが骨髄移  
植を含め造血幹細胞移植を受け  
られるよう、全力で取り組んで  
まいりたいと考えております。

そして、国民の皆様方の理解が  
深まり、一人でも多くの方々が  
骨髄バンクに登録してくださる  
ことを切に願っております。  
結びに、貴協議会のますます  
の御発展と会員皆様方の御健勝、  
御活躍を御期待申し上げますと  
ともに、一人でも多くの患者さ  
んが元気になることを心よ  
り御祈念申し上げ、新年の御挨拶  
とさせていただきます。

日本赤十字社  
血液事業本部長 横山繁樹



平成18年の新しい年を迎え、  
謹んでお慶び申し上げます。  
昨年は、例年を大きく上回る  
骨髄ドナー登録希望者の方の登  
録受け付けを行い、また、骨髄  
ドナー登録希望者数及び日本骨  
髄バンクを介した非血縁者間の  
骨髄移植例数がいずれも月間で  
過去最多を記録するなど、骨髄  
バンク事業にとつて喜ばしい話  
題の多い一年でありました。こ  
れもひとえに貴協議会をはじめ  
全国各地で日々活動されている  
ボランティアの皆様方のこれま  
での永きに亘るご尽力の賜物と  
深く敬意を表します。

日本赤十字社といたしまして  
は、骨髄バンク事業をより充実・  
発展させるため、関係者の皆様  
方のご協力を得ながら、ドナー  
登録を希望される方々がより登  
録しやすい環境作りや既登録者  
のDNA検査によるリタイピン  
グ検査業務の実施等に努め、骨  
髄移植を必要とする患者さんの  
お役に立てるよう努力して参る  
所存であります。

最後に、貴協議会のますます  
のご発展と皆様のご健勝を祈念

いたしました。新年の挨拶とさ  
せていただきます。

日本さい帯血バンクネットワーク  
会長 鎌田 薫



新年明けましておめでとうご  
ざいます。

日本さい帯血バンクネット  
ワークは、平成11年8月に当時  
の厚生省の財政支援を受け、全  
国8カ所のさい帯血バンクが共  
同事業を行うことを目的として  
発足いたしました。現在では参  
加バンクも11に増え、それら  
が共同して、さい帯血の採取か  
ら調製、保存、公開、供給ま  
での事業を行うとともに、移植  
データの収集・整理などの作  
業に取り組んでいます。

非血縁者間のさい帯血移植数  
は、昨年中に2500例を超え、  
骨髄移植と共に、造血幹細胞移  
植医療を支える重要な柱になっ  
ています。これからも、骨髄バ  
ンクと連携をし、移植を待つ患  
者さんのために共に努力しなが  
ら一層の発展を目指していきたく  
いと思ひます。

さい帯血バンク事業に対する  
ますますのご理解とご支援をお  
願いするとともに、新年が皆様  
にとりまして、より良い年とな  
りますよう祈念いたします。

特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
理事長 品川保弘



また、新しい一年が始まりま  
した。全国協議会理事会を代表  
して一言ご挨拶申し上げます。こ  
ところですが、新年早々、勝手  
な独り言を語らせて下さい。  
私案として協議会の昨年の三  
大ニュースをあげれば、①会長  
交代、②15周年記念事業開始、

③理事数大幅削減ではないで  
しょうか。ついになら、骨髄  
バンクというキーワードで、私  
自身の昨年の三大ニュースをあ  
げれば、①ドナー再登録、②協  
議会理事再任、③財団常任理  
事就任と言えましょう。  
財団、対策室、日赤、さい帯  
血それぞれの三大ニュースも私  
なりに記したいのですが、紙面  
が……いえ、三つではとても足  
りないところもあるような……。  
本年もよろしくお願いいたしま  
す。

### 財団 国際会計余剰金の 処理方法決定

12月2日に行われた財団の常  
任理事会で国際会計特別会計に  
おける収支差額の処理について  
方向が決まりました。

その内容は特別会計として運  
営するのではなく、一般会計に  
統合した上で次の処理をする  
ということです。

①国際事業における患者負担金  
免除制度をつくり、患者負担  
金等支援基金に積み立てる

②患者負担金軽減積立金への積  
み立て

③一般会計の繰り入れ

全国協議会は、この検討会議  
に委員を出し、また要望書も出  
して、海外から移植を受けた患  
者さんにも国内から移植を受け  
た患者さんと同様に患者負担金  
の減免を行う財源とし、この減  
免を過去にさかのぼって適用し  
て欲しいと訴えました。しかし、  
前者については減免措置が新設  
されることにはなつたもののそ  
れを過去に遡及はしないという  
結論になりました。  
なお、それぞれへの金額の配  
分は年度末までに検討されるこ  
ととなりました。(木村)

### 第57回 理事会報告

12月18日  
全国協議会事務局

〈11月会計報告〉

〈協議事項〉

- 名義後援、承認案件
- 会員制度見直しについて
- 全国協議会の会計について
- 財団新聞報道に関する対応について
- 財団国際会計に関する対応について
- 財団関連報告
- ドナー登録関連、要望書提出について
- 第3回合同公開フォーラムの開催について
- 情報誌第9号の発行について
- 年賀ハガキ事業の進め方
- 箱根駅伝での普及啓発活動について
- 普及啓発ビデオ製作への協力について

- 財団関連報告
- 15周年記念事業進捗状況
- 学会発表について
- WEBサイト更新について
- グッズについて

### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

### 骨髄バンクNOW

●ドナー登録者の増加傾向が続き、11月も「過去第2位」に  
11月の月間ドナー登録者数は5,225人でした。10月に比べると  
1,600人余りの減少ですが、この数字は「過去第2位」であり、現  
在数23万人まで「あと858人」にまで迫りました。累計では、29  
万人を突破しました。前年同時期(1月~11月)の比較では、平成  
16年の26,829人に対して平成17年は35,127人(約1.3倍の8,298  
人増)となっています。  
また、骨髄移植実施例は平成16年の729例に対して、845例と  
116例の大幅増です。

●日本骨髄バンクでの非血縁者間骨髄移植が7,000例を達成  
平成5年1月の初移植以来、症例数を重ねてきましたが、今月15  
日に累計7,000例を達成しました。6,000例が昨年11月でしたから、  
およそ1年1カ月間に1,000例というスピードで達成したことになり  
ます。ドナーの皆さまをはじめ医療機関の関係者など皆さまのご  
協力・ご尽力の賜物です。

●「Gift of Life」を改訂しました  
ドナー登録要件の変更に伴い、改訂版が待たれていた「Gift of  
Life」が装いも新たに発行されました。「見やすく、読みやすく、扱

いやすい」ことを改訂のポイントに、判型をA4三つ折りからB5三  
つ折りに縮小して、配布・携帯の利便性を考慮しました。また、文  
字を大きくするとともに、内容も簡潔にしました。

内容については、「チャンス」ほど詳しく説明してありませんが、  
ドナー登録や骨髄提供、骨髄移植などについて「必要最小限」の情  
報を掲載しており、財団の印刷物として初めてQRコード(2次元  
バーコード)を導入しました。

●日本骨髄バンクの現状(2005年11月末現在)

	10月	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	6,873	6,873	229,142	291,458
患者登録者数	230	230	3,140	19,541
骨髄移植例数	98	98	-	6,947
20歳未満ドナー	407	226	1,702	-
51歳以上ドナー	153*	212**	1,319	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。  
\*51歳以上ドナーの延長数 \*\*51歳以上ドナーの新規登録数

### 心からのご寄付に 感謝申し上げます

11月21日～12月18日

榊タクトコーポレーション	現金	30,000円
榊サクラホーム	現金	10,000円
大利根商工会女性部	現金	13,419円
東京21世紀ライオンズクラブ	現金	100,000円
大宮シティロータリークラブ	現金	130,000円
大内けいじ後援会	現金	12,766円
豊島区明るい社会づくりの会	現金	100,000円
花田学園祭実行委員会	現金	13,000円
徳島藍ライオンズクラブ	現金	15,473円
岡崎市立東海中学校生徒会・保健委員会	現金	47,500円
宮代町立百間中学校PTA	現金	20,000円
宮代町立百間中学校生徒会	現金	18,740円
株式会社サカタのタネ	現金	437,532円
竹里庵コンサート・関谷徳衛	現金	50,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
鈴木純子	現金	1,340円
笹山鼓宇太	現金	5,000円
福岡正	現金	10,000円
今西弘	現金	50,000円
吉本哲也	現金	1,000円
塩谷圭	現金	1,000円
白相浩二	現金	12,883円
堀江英二	現金	5,000円
宮沢卓治	現金	1,001円
陽田秀夫	現金	2,000円
大貫和春	ハガキ	1,030枚
倉山 稔	テレカ	25枚

#### ●佐藤さち子患者支援基金

松井かおる	現金	1,000円
天本祐爾	現金	17,730円
匿名	現金	4,500円

#### ●白血病患者支援基金・募金箱

マスマ美容室	現金	959円
五稜郭大村美容形成クリニック	現金	471円
今整形外科	現金	1,314円
今内科消化器科医院	現金	415円
こんクリニック松崎	現金	1,014円
はこね中村家寿司店	現金	18,432円
たにぐち薬局	現金	6,210円
土肥淑恵	現金	585円

(敬称略)

#### 活動資金の援助をお願いします

##### 銀行口座

三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754

##### 特定非営利活動法人

全国骨髄バンク推進連絡協議会

**宮崎** あなたが大切・そんなあなたに、ありがとう  
**佐賀** 救ってあげたい動きが、15年経ても止まらない！  
**福岡** 輝け生命、広かれ善意の輪  
**高知** 新たな開拓で生命を救う  
**岡山** 年齢制限の拡大で、目指そうドナー登録30万人  
**鳥取** 本年も「無理なく楽しく」をモットーに活動します！  
**奈良** 大きな和を目指して、きみとなら骨髄バンク  
**姫路** 18歳登録可能を機に若者への呼びかけ強化  
**静岡** 今のいいムードで一挙に目標達成を目指そう。  
**と** 県内、3500人の登録、維持に向けて再スタート  
**富山** 定例会休会期間継続中！会報体刊期間継続中！  
**新潟** いくつも峠を越えてきたね、もう少しがんばろう！  
**千葉** ようこそ千葉へ！全国大会を成功させよう  
**東京** 拡げよう、患者支援の善意の輪を！  
**埼玉** 一人の百歩より、百人の一步を合言葉に  
**福** 支えあう いのち ころろ  
**栃** 願いは行政主導の登録会、元のボラに戻りたい  
**木** 今年は秋田の会も15周年。継続は力なり！？  
**秋** 初心・継続・そして新たなステージへ  
**田** 身近なところの種蒔きから  
**宮**  
**城**  
**北海道**

新年にあたり、各地団体に今年  
の抱負・スローガンを募集し  
たところ20団体から寄せられま  
したのでご紹介しします。今年も

### 各地団体 今年のスローガン

それぞれの地域で、そして全国  
の力を合わせてがんばりましょ  
う！



2日間、貴志真由子ちゃん手  
作りのかわいい小物等の展示  
の大切さや心の中に刻んでいた  
だけならと思えます。またこの  
生きていること、素晴らしいとき  
らに多くの方々に見ていただき、  
の大切さや心の中に刻んでいた  
だけならと思えます。またこの  
生きていること、素晴らしいとき  
らに多くの方々に見ていただき、

**三菱ウェルファーマ株式会社**  
http://www.m-pharma.co.jp

**創薬力**



**新潟**  
新潟にも、ついにやってきま  
した。期待と不安で大きな荷物  
を受け取りました。梱包の傷み  
にビックリ。箱を新調して出直  
しです。  
輝き展は11月16日から25日ま

**全国協議会設立15周年記念事業  
「いのちの輝き展」全国で開催中**

報道の8社の方も、ボラン  
ティアも感動のひとつをいた  
できました。  
2年前に、骨髄バンクを介し  
て移植を受けた患者さんが偶然  
会場を訪れ、いつもがんばって  
いるボランティアに、感謝の気  
持ちは伝えたくてと声をかけて  
くれました。  
同時にDVDを設置して説明会  
も実施し2会場で8名の申込が  
あり、チャンスも沢山配布しま  
した。

即売は15,200円、募金が  
30,794円となり、関西骨  
髄バンク推進協会を通じて骨髄  
移植推進財団へ寄付させていた  
できました。皆様の温かい心に  
改めて感謝いたします。(名川)

**大阪**  
11月19日と20日の2日間、大  
阪国際会議場で開催された「動  
物臨床医学会」第26回学大会  
において、骨髄バンク啓発活動  
及び「いのちの輝き展」を開催  
いたしました。昨年に引き続き  
今回で3度目となりましたバン  
ク普及啓発活動とともに今年  
度は、あやちゃんの絵、MAM  
Oのメッセージ、お手紙のパ  
ネル展示を学会受付前で行い  
ました。この学会は日本全国よ  
り、獣医師ほか4000名を超  
える参加者が集まります。しか  
し、受付が集中する時間はゆっ  
くり見ることは出来ないよう  
でした。喧騒がひと段落し講演  
会の合間などに展示を見てくだ  
さった方々は、熱心にパネルを  
見た後、「どうすれば登録でき  
るか」と尋ねたり、ポスター  
を持ち帰り掲載してくださる方  
などがいらつしました。さ  
らに多くの方々に見ていただき、  
の大切さや心の中に刻んでいた  
だけならと思えます。またこの  
生きていること、素晴らしいとき  
らに多くの方々に見ていただき、

**東京**  
11月25日(金)より27日(日)  
の期間、練馬区立中村小学校で  
「いのちの輝き展」を開催いた  
しました。全校生徒による作品  
の展覧会にあわせて、PTAの  
お母様方の出展作品展示室の廊  
下にあやちゃんの絵、MAM  
Oのメッセージ、お手紙を展示  
させていただきました。中村小  
学校全校生徒830名、教職員  
の方々及びご父兄、お手伝い頂  
いた町会の皆様等、期間中は大  
勢の来校者であふれていました。



高学年の生徒や、あやちゃん・  
守君と同年代のお子様をお持ち  
のご父兄は、お手紙もじっくり  
読んでくださいました。低学年  
の生徒は読めない漢字があり、  
お手紙にはあまり興味を示しま  
せんでしたが、あやちゃんの絵  
を食い入るように見ていました。  
「いのちの輝き展」を通じて闘  
病中の心の叫び、命の贈り物を  
したドナーさん、骨髄移植で元  
気になった患者さんのメッセー  
ジが、子供たちやご覧になった  
皆様の心に響いてくれるものと  
思います。今回の開催にあたり  
教職員、PTA役員の方々のご  
協力に感謝いたします。(名川)

**15周年記念事業協賛金・協賛品・一般寄付**  
(11月21日～12月18日)

新潟北ライオンズクラブ	10,000円
新潟県歯科医師会	20,000円
徳島藍ライオンズクラブ	60,000円
東京碑文谷ライオンズクラブ	20,000円

(敬称略)

**ドラッグストア・クスリ  
のどがし (北海道釧路市)**  
釧路の会からご紹介しますの  
は「ドラッグストア・クスリ  
のどがし」さんです。天然記念  
物の排ブナが生息する春採湖の  
ほとりにお店があるお薬やさん  
ですが、ただお客様の要望通り  
のお薬を売るのではなく薬剤師  
でもあるご主人の富樫さんは、  
お客様一人一人の症状を詳しく  
聞いて病状にあったより良いお  
薬をお勧めすることをモットー  
とされています。親しみやすい  
地域の薬屋さんとして、お店に

**ごんにちは募金箱**  
毎日沢山のお客様がお見えにな  
り富樫さんとお話されている  
のです。そしてそんなお客様  
たちがおつりをいれてくださるよ  
う募金箱は  
レジの横に  
置かれてい  
ます。この  
記事をご覧  
のみならず  
お近くにお  
いで折  
はぜひ「ド  
ラッグスト  
ア・クス



**その19**  
「のどがし」にお立ち寄りにな  
り、富樫さんとお話してみ  
てください。  
(小川)



**埼玉県宮代町立百間 (も  
んま) 中学校**  
昨年12月15日(木)、当校の「生  
徒朝会」にて、大谷貴子会長に  
早朝よりお越し頂き、お話を拝  
聴いたしました。何かと「命」  
について痛ましい事件が続いて  
いる昨今、改めて生きていること  
の喜びを確認させられました。  
朝会では生徒会が中心になっ  
て行っている「骨髄バンク募  
金」の活動を報告すると共にP  
TAバザーで得たポップコーン

ビデオ上映が終わるや否や、  
「皆さんこんにちはー、私が大  
谷貴子です！」という声と共に  
後方から会長の登壇に一同びっ  
くり。  
演台に着くまでのわずかな時  
間で、場内は早くも大谷会長の  
ベースに引き込まれました。ビ  
デオ上映の中にいた「生死をさ  
まよった女性」が、目の前でエ  
ネルギッシュにマイクを握り熱  
弁する大谷会長なのだというこ  
とに新鮮さを感じました。上映  
を含んだ型の講演は、どの世代  
にも理解いただけ、メッセージ  
性も強いと感じました。  
講演後、会長の著書と関連書  
籍はほぼ完売！その場ですべて  
の方にサインを求められ、サイ  
ンペンのインクがなくなってい  
まうというアクシデントもあり  
ました。(仲本)

**大谷会長  
大宮シティロータリークラ  
ブ月例会**  
11月30日さいたま市内で、大  
宮シティロータリークラブ月例  
会での講演がありました。例会  
とはいえ、県内の各ロータリー  
クラブやそのご家族、知人の参  
加もあり総勢80名程でした。中  
高生や中国からの留学生など若  
者の姿もみられました。  
講演に先立ち、以前テレビ放  
映された「アンビリーバボー」  
がビデオ上映され、会長の闘病  
体験や骨髄バンク設立の様子が  
会場に感動を呼びました。



販売の売上金、PTAからは取  
益金の一部を募金として協力頂  
き、お渡しすることができまし  
た。生徒、地域の方々の思いを  
役立てて頂ければと存じます。  
さて、大谷会長とは、3年前  
にご講演頂いたことをきっかけ  
に、当時の生徒会の面々が「中  
学生にもできるボランティアは  
ないか？」と募金活動の先駆者  
となり、交流が続いています。  
「百間中学」と聞けば「骨髄バ  
ンク」と言われるように、命  
の大切さにリンクできるような  
ネットワークの広がりを感じつ  
つ、大谷会長の伴走者になれ  
ば幸いです。  
(百間中学校教諭加藤)